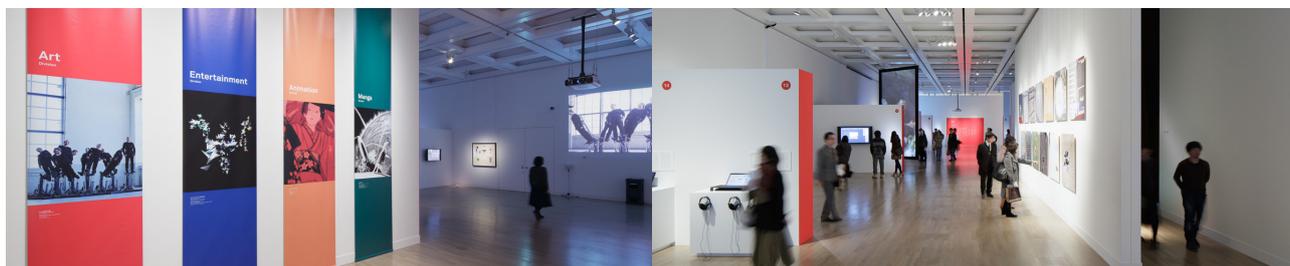




平成25年度[第17回] 文化庁メディア芸術祭 7月11日(木)より作品募集スタート <http://j-mediaarts.jp>

文化庁メディア芸術祭実行委員会では、平成25年度[第17回]文化庁メディア芸術祭を開催する運びとなりました。文化庁メディア芸術祭は、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルとして、平成9年度(1997年)から毎年開催しています。



昨年度[第16回]文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子

昨年度[第16回]は、過去最多となる世界72の国と地域から3,503点に及ぶ作品の応募があり、審査委員による審査を経て、部門ごとに大賞、優秀賞、新人賞を発表しました。アート部門では9人の音楽家が自動制御の台座のうえで合唱するパフォーマンス作品『Pendulum Choir』(作者: Cod.Act (Michel DÉCOSTERD / André DÉCOSTERD))が、エンターテインメント部門ではテクノポップグループPerfumeのデビューを記念したプロジェクト『Perfume “Global Site Project”』(作者: 真鍋大度 / MIKIKO / 中田ヤスタカ / 堀井哲史 / 木村浩康)が大賞を受賞しました。また、アニメーション部門では、卓越した映像表現が描きだす江戸の大火を舞台とした作品『火要鎮』(作者: 大友克洋)が、マンガ部門ではバンド・デシネの人気シリーズの初邦訳版『闇の国々』(作者: プノワ・ベーターズ / フランソワ・スクイテン、訳: 古永真一 / 原正人)が大賞を受賞しました。時代の変化とともに生まれる新しい表現、多様なジャンルの作品とともに、文化庁メディア芸術祭は国際的なフェスティバルとして成長を続けています。

平成25年度[第17回]文化庁メディア芸術祭 応募期間: 2013年7月11日(木)～9月12日(木)必着

17回目となる今年度は7月11日(木)より作品募集を開始します。アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門で過去1年間(2012年9月21日～2013年9月12日)に完成、または発表された作品を対象に、プロ、アマチュア、自主制作、商業作品を問わず、世界中から広く作品を募集します。

12月上旬には、メディア芸術祭賞(文部科学大臣賞)として大賞、優秀賞、新人賞の受賞作品と功労賞、審査委員会推薦作品を発表する予定です。2014年2月5日(水)～2月16日(日)には、国立新美術館(東京・六本木)を中心に、受賞作品等を紹介する受賞作品展を開催します。

広報問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当[hilo Press内] 鎌倉・星野・佐藤

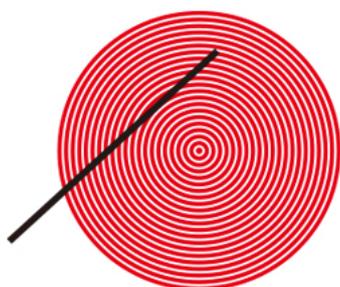
Email: jmaf17-pr@hilopress.net Tel: 03-5682-3072 Fax: 03-6369-3596 (受付時間: 平日10時～18時)

〒104-0031 東京都中央区京橋1-14-5-5F



■平成25年度[第17回]文化庁メディア芸術祭 —今年度も作品募集からスタートします。

17回目を迎える今年度の文化庁メディア芸術祭も作品募集からスタートします。部門ごとに5名の審査委員による厳正な審査を経て、世界中から寄せられる多くの応募作品の中から受賞作品を選出します。また、来年2月には国立新美術館（東京・六本木）を中心に受賞作品を紹介する受賞作品展を開催します。メディア芸術の魅力溢れるフェスティバルがいよいよ開幕します。



第17回

文化庁
メディア芸術祭

17th JAPAN MEDIA ARTS FESTIVAL

開催概要

作品募集	2013年7月11日（木）～9月12日（木） ※注目作品の情報受付：2013年7月11日（木）～8月12日（月）
受賞発表	2013年12月上旬
贈呈式	2014年2月4日（火）
受賞作品展	2014年2月5日（水）～2月16日（日）※2/12（水）休館 会場：国立新美術館（東京・六本木） 他
公式ウェブサイト	http://j-mediaarts.jp
Facebook	http://www.facebook.com/JapanMediaArtsFestival
Twitter	@JMediaArtsFes
主催	文化庁メディア芸術祭実行委員会
問合せ先	文化庁メディア芸術祭事務局 [CG-ARTS 協会内] Email : jmaf@cgarts.or.jp Tel : 03-3535-3501 （受付時間：平日 10 時～ 18 時）

※応募方法等の最新・詳細情報は、公式ウェブサイト (<http://j-mediaarts.jp>) でご覧ください。



■ 実行委員会

会 長 近藤 誠一（文化庁長官）

運営委員 青木 保（国立新美術館長）
建畠 哲^{あきら}（京都市立芸術大学長）
古川 タク（アニメーション作家／東京工芸大学客員教授）

審査委員 アート部門

植松 由佳（国立国際美術館主任研究員）
岡部 あおみ（美術評論家）
後々田 寿徳^{ごごた ひさのり}（キュレーター／梅香堂オーナー）
高谷 史郎（アーティスト）
三輪 眞弘（作曲家／情報科学芸術大学院大学(IAMAS)教授）

エンターテインメント部門

飯田 和敏（ゲーム作家）
岩谷 徹（ゲームクリエイター／東京工芸大学教授）
宇川 直宏（現在美術家／京都造形芸術大学教授／DOMMUNE 主宰）
久保田 晃弘（アーティスト／多摩美術大学教授）
中村 勇吾（インターフェースデザイナー／tha ltd. 代表取締役）

アニメーション部門

大井 文雄（アニメーション作家）
小出 正志（アニメーション研究者／東京造形大学教授）
杉井 ギサブロー（アニメーション映画監督）
森本 晃司（アニメーション監督）
和田 敏克（アニメーション作家）

マンガ部門

伊藤 剛（マンガ評論家／東京工芸大学准教授）
斎藤 宣彦（編集者／マンガ研究者）
すがや みつる（マンガ家／京都精華大学教授）
みなもと 太郎（漫画家／マンガ研究家）
ヤマダ トモコ（マンガ研究者）

選考委員 アート部門

小町谷 圭^{こまちや}（メディアアーティスト／札幌大谷大学講師）
工藤 健志^{たけし}（青森県立美術館学芸員）
田坂 博子（東京都写真美術館学芸員／恵比寿映像祭キュレーター）
松井 茂（詩人／東京藝術大学芸術情報センター助教）
鷺田 めるる（金沢21世紀美術館キュレーター）

顧 問 浜野 保樹^{やすき}（東京工科大学教授／東京大学名誉教授）



■募集作品 ー4部門で多彩なカテゴリーの作品を募集します。

アート部門:

アート部門には、テクノロジーとともに新たな価値観を探り、批評的な視点をもつ様々な表現が集います。インタラクティブアート、メディアインスタレーション、映像作品、グラフィックアート(デジタル写真を含む)、ウェブ、メディアパフォーマンス等、ジャンルを越境する意欲的な作品の応募をお待ちしています。



昨年度[第16回]文化庁メディア芸術祭 アート部門 大賞受賞作品

テクノロジーの複雑性と身体の叙情が融合したパフォーマンス

『Pendulum Choir』

ペンデュラム クワイア
コッドアクト ミシェル デコステル アンドレ デコステル
Cod.Act (Michel DÉCOSTERD / André DÉCOSTERD)

©Cod.Act Photo:Xavier Voirol

エンターテインメント部門:

エンターテインメント部門には、遊びや体験をつくりだす多種多様な形式の作品が集います。ゲーム作品や、映像作品(ミュージックビデオ、広告、特殊映像効果・表現等)、ガジェット、ウェブ、アプリケーション等、創意あふれる表現に挑戦し続ける、人の心を掴む作品の応募をお待ちしています。



昨年度[第16回]文化庁メディア芸術祭 エンターテインメント部門 大賞受賞作品

ウェブサイト、オープンソース、パフォーマンスまでを包括する大プロジェクト

『Perfume "Global Site Project"』

パフューム グローバル サイト プロジェクト
真鍋 大度/MIKIKO/中田 ヤスタカ/堀井 哲史/木村 浩康

©株式会社ライゾマティクス + 株式会社アミューズ + ユニバーサル ミュージック合同会社

アニメーション部門:

アニメーション部門には、圧倒的な物語や個性的な表現力をもった、完成度とオリジナリティを極めた作品が集います。劇場アニメーション、短編アニメーション、テレビアニメーション、オリジナルビデオアニメーション等、手描きによる作画からフル3DCG、それらを融合させたハイブリッド化された技法などの幅広い作品をお待ちしています。



昨年度[第16回]文化庁メディア芸術祭 アニメーション部門 大賞受賞作品

卓越した表現が描きだす、江戸の大火を舞台としたスペクタクル

『火要鎮』

ひのようじん
大友 克洋

©SHORT PEACE COMMITTEE

マンガ部門:

マンガ部門には、発表形態の多様化と応募作品の国際化に伴う、マンガの可能性を拡張するような意欲作が多く集まります。単行本で発行されたマンガ、雑誌等に掲載されたマンガ(連載中の作品を含む)、コンピュータや携帯情報端末等で閲覧可能なマンガ、同人誌などの自主制作のマンガ等、世界に届くパワーあふれるマンガ作品をお待ちしています。



昨年度[第16回]文化庁メディア芸術祭 マンガ部門 大賞受賞作品

重厚なストーリーと技巧の粋を極めた緻密な絵で描くバンド・デシネの人気シリーズ

『闇の国々』

ブノワ・ペータース/フランソワ・スクイテン 訳:古永 真一/原 正人

©2008, 2009, 2010 Casterman, Bruxelles All rights reserved.



■応募方法

ーウェブサイトより応募可能です。

応募申込、作品応募は公式ウェブサイト (<http://j-mediaarts.jp>) で手続き可能です。応募申込として必要情報を入力し、作品・参考資料のデータをアップロードすれば完了です。また、配布中の募集要項に添付された応募用紙を同封し、郵送で応募することも可能です。応募方法等の詳細は、公式ウェブサイト、募集要項でご確認ください。

※注目の作品を教えてください。

同時代の優れたメディア芸術作品の応募を促進するため、公式ウェブサイトにて、メディア芸術作品の情報を一般より広く受け付けます。いただいた作品情報は、事務局にて調査を実施し、作品応募へとつなげます。
受付期間：2013年7月11日(木)～8月12日(月)

■各賞

ー受賞発表は12月上旬を予定しています。

高い芸術性と創造性を基準として、部門ごとに大賞1作品、優秀賞4作品、新人賞3作品を選定します。また、審査委員会の推薦により、メディア芸術分野に貢献のあった方に対して、功労賞を贈呈します。

メディア芸術祭賞(文部科学大臣賞)

大賞：賞状、トロフィー、副賞60万円

優秀賞：賞状、トロフィー、副賞30万円

新人賞：賞状、トロフィー、副賞20万円

功労賞：賞状、トロフィー

このほか、優れた作品を審査委員会推薦作品として選定します。



昨年度のメディア芸術祭賞贈呈式の様子

※受賞作品は国内外で広く紹介されます。

文化庁メディア芸術祭での受賞は、国内外のフェスティバルへの出展や創作活動の支援等、関連事業を通じた新たな活動にもつながります。「文化庁メディア芸術祭地方展」では、受賞作品を中心に優れたメディア芸術作品を展示・上映するほか、「文化庁メディア芸術祭国内巡回事業」「海外メディア芸術祭等参加事業」では、国内外のメディア芸術関連のフェスティバル等に参加し、受賞作品を紹介します。また、「メディア芸術クリエイター育成支援事業」では、歴代受賞者(審査委員会推薦作品を含む)を対象に、創作活動を支援します。

※各事業の詳細は、文化庁ウェブサイト (<http://www.bunka.go.jp>) にてご確認ください。



左：海外メディア芸術祭等参加事業 アングレーム国際マンガ祭 参加イベント会場の様子

中：文化庁メディア芸術祭山梨展 会場風景

右：メディア芸術クリエイター育成支援事業 昨年度の作品展示風景



■募集概要

募集部門 4部門（アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガ）

- アート部門
デジタル技術を用いて作られたアート作品
[インタラクティブアート、メディアインスタレーション、映像作品、グラフィックアート（デジタル写真を含む）、ウェブ、メディアパフォーマンス等]
- エンターテインメント部門
デジタル技術を用いて作られたエンターテインメント作品
[ゲーム（テレビゲーム、オンラインゲーム等）、映像作品（ミュージックビデオ、広告、特殊映像効果・表現等）、ガジェット、ウェブ、アプリケーション等]
- アニメーション部門
アニメーション作品
[劇場アニメーション、短編アニメーション、テレビアニメーション、オリジナルビデオアニメーション（OVA）等]
- マンガ部門
マンガ作品
[単行本で発行されたマンガ、雑誌等に掲載されたマンガ（連載中の作品を含む）、コンピュータや携帯情報端末等で閲覧可能なマンガ、同人誌などの自主制作のマンガ等]

募集期間 2013年7月11日（木）～9月12日（木）必着

応募条件 ※応募する作品が下記に該当するかを必ず確認の上でご応募ください。

- 2012年9月21日（金）から2013年9月12日（木）までの間に完成、または発表された作品。
※更新、リニューアルされた作品で上記期間中に完成、または発表された作品も応募可能です。
※応募する作品数に制限はありませんが、同一の作品を複数の部門に重複して応募することはできません。
- 応募者は作品の著作権を有することが必要です。
代理の方が応募する場合は、必ず著作権者に承諾を得てください。
※応募申込をもって、応募者および作者の同意を得られたものとします。
※募集要項・公式ウェブサイトに記載された応募規定特記を必ずお読みいただき、同意の上でご応募ください。

各 賞 高い芸術性と創造性を基準として、部門ごとに大賞1作品、優秀賞4作品、新人賞3作品を選定します。また、審査委員会の推薦により、メディア芸術分野に貢献のあった方に対して、功労賞を贈呈します。

メディア芸術祭賞（文部科学大臣賞）

- 大 賞：賞状、トロフィー、副賞 60万円
- 優秀賞：賞状、トロフィー、副賞 30万円
- 新人賞：賞状、トロフィー、副賞 20万円
- 功労賞：賞状、トロフィー

このほか、優れた作品を審査委員会推薦作品として選定します。

広報問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当[hilo Press内] 鎌倉・星野・佐藤

Email: jmaf17-pr@hilopress.net Tel: 03-5682-3072 Fax: 03-6369-3596 (受付時間: 平日10時～18時)

〒104-0031 東京都中央区京橋1-14-5-5F



平成 25 年度 [第 17 回] 文化庁メディア芸術祭 作品募集告知
 広報用素材貸出申請書

「第 17 回文化庁メディア芸術祭」広報用として、下記のデータをご用意しております。貸出をご希望の方は、こちらの申請書に必要な事項と希望素材のアルファベットを○で囲み、文化庁メディア芸術祭事務局広報担当 [hilo Press 内] までお送り下さい。

[A] ロゴ一式 (zip) ※使用規定 (pdf) 同封





[B] パナー一式 (zip) ※使用規定 (pdf) 同封



[C] 広報画像 (zip) (昨年度 [第 16 回] 文化庁メディア芸術祭受賞作品画像【1】～【4】.jpg)
 (昨年度 [第 16 回] 文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子【5】【6】.jpg) ※使用規定 (pdf) 同封



キャプション：

- [1] アート部門 大賞 『Pendulum Choir』 Cod.Act (Michel DÉCOSTERD / André DÉCOSTERD)
- [2] エンターテインメント部門 大賞 『Perfume "Global Site Project"』 真鍋 大度 / MIKIKO / 中田 ヤスタカ / 堀井 哲史 / 木村 浩康
- [3] アニメーション部門 大賞 『火要鎮』 大友 克洋
- [4] マンガ部門 大賞 『闇の国々』 ブノワ・ペータース / フランソワ・スキイテン 訳：古永 真一 / 原 正人

指定クレジット：

- © Cod.Act photo:Xavier Voirol
- ©株式会社ライゾマティクス + 株式会社アミューズ + ユニバーサル ミュージック合同会社
- © SHORT PEACE COMMITTEE
- © 2008, 2009, 2010 Casterman, Bruxelles All rights reserved.

【5】



【6】



キャプション (【5】【6】共通)： 昨年度 [第 16 回] 文化庁メディア芸術祭受賞作品展の様子 提供：文化庁メディア芸術祭事務局

< 広報画像のご使用にあたって >

※広報画像のご使用は「第 17 回文化庁メディア芸術祭」をご紹介いただく場合に限らせていただきます。フェスティバル終了後は使用できません。
 ※広報画像【1】～【6】は全図でご使用ください。部分使用や作品に文字や他のイメージを重ねることはお控えください。
 ※指定クレジットを必ずご記載いただきますようお願いいたします。またキャプションを可能な限りご記載いただきますようお願いいたします。
 ※校正グラを広報担当までお送りください。

貴社についてお知らせください

貴社名 _____

ご担当者名 _____ 様

ご住所 〒 _____

Tel _____

ご掲載・放映の予定日 _____ 月 _____ 日

媒体名 _____

所属部署 _____

Email _____

Fax _____

< 個人情報の取り扱いについて >

ご記入いただきました個人情報は、文化庁メディア芸術祭広報からの情報配信やご案内等必要なご連絡のみ使用いたします。許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。

広報問合せ先

文化庁メディア芸術祭事務局 広報担当[hilo Press内] 鎌倉・星野・佐藤
 Email : jmaf17-pr@hilopress.net Tel : 03-5682-3072 Fax : 03-6369-3596 (受付時間:平日10時～18時) 〒104-0031 東京都中央区京橋1-14-5-5F